

おしえて!

感染症 さがみはら

2024年12月
2025年1月
合併号



今月の注目疾患：感染性胃腸炎（ノロウイルス）

※本号から名称を「相模原市感染症情報」から「おしえて！感染症さがみはら」に変更します

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。例年11月くらいから発生件数が増加し、12月～翌年1月が発生のピークになる傾向があり、これからの時期に注意が必要です。

どう感染する？



感染者より排泄された糞便および吐物

下水、河川、海

感染者の看護や世話をした人の手指を汚染

調理者の手などを介して、食品にウイルスが付着

海でカキなどの二枚貝が、ノロウイルスを体内で濃縮

手指などを介して感染

ウイルスが付着した食品などを介して感染

生食や加熱不十分で喫食し感染

発症

24～48時間の潜伏期間の後、吐き気、おう吐、腹痛、下痢、軽度の発熱などの症状

1～2日で治癒

健康な方は軽症で回復。
小児や高齢者などは重症化することがある。

【おう吐物・ふん便は正しく処理しましょう】

集団感染の大半は、施設内部でヒトからヒトに感染（二次感染）して広がります。汚物は乾燥する前に処理を済ませることが大切です。

→乾燥するとウイルスが空気中に舞い上がり、二次感染につながる恐れがあります。

【処理手順】

～おう吐物・ふん便の処理～

- ①マスクと手袋を着用し換気する
- ②おう吐物・ふん便をペーパータオル等で静かにふき取る
- ③広い範囲を塩素系消毒液0.1%を染み込ませた布や新聞紙で10分浸す
- ④最後に必ず水拭きをする

～処理後の汚物等は～

- ①処理した汚物はビニール袋に入れ、汚物が十分に浸る量の塩素系消毒液0.1%に浸す
- ②密封して破棄する

塩素系消毒液は素手に付いたりしないよう取扱いに注意してください

●塩素系消毒液0.1%
=水500mlに市販の塩素系消毒薬（5%）
キャップ2杯分（10ml）

●ドアノブやおもちゃなどの消毒の際は、
塩素系消毒液 0.02%
=水500mlに市販の塩素系消毒薬（5%）
をキャップ1/2杯分（2.5ml）

※市販されている塩素系消毒液はそれぞれ塩素濃度が異なるので必ず確認して使用してください



治療法は？

特効薬やワクチンはありません。感染後は脱水にならないよう少量ずつ水分補給をしましょう。症状がひどい場合には医療機関にかかりましょう。

予防法は？

感染予防には手洗いが重要です。トイレの後や調理、食事の前に石けんと流水で十分に手を洗いましょう。症状がなくなっても、1週間～1ヶ月はウイルスの排泄が続くことがあるので、しばらくの間は食品を直接取り扱う作業は控えましょう。

ノロウイルスは感染力が強く
10個～100個のウイルス量でも感染します

★相模原市感染症情報センターでは毎週感染症に関する情報を掲載しています

相模原市 感染症情報センター



発行：相模原市衛生研究所